平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名　ニチモウ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8091　URL　http://www.nichimo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小池　由紀夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長　(氏名) 八下田　良知　TEL 03-3458-3530

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	45,575	8.2	377	△16.7	387	△16.7	272	△29.8
23年3月期第2四半期	42,109	△2.6	453	―	465	―	387	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　148百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△208百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.00	7.92
23年3月期第2四半期	11.41	11.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	56,528	12,222	21.5
23年3月期	47,641	12,101	25.3

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　12,178百万円　23年3月期　12,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	―	―
24年3月期	―	―			
24年3月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	9.2	750	△11.6	500	△29.6	400	―	11.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	37,874,000 株	23年3月期	37,874,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,888,297 株	23年3月期	3,886,973 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	33,986,512 株	23年3月期2Q	33,963,299 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・２

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・３
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・３

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・３

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・３
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・３
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・３
(4)　追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
(2)　四半期連結損益及び包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・７
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・７
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・９
(4)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・11
(5)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・12

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響を受けたサプライチェーンの復旧、個人消費も緩やかながら持ち直しつつあるものの、欧米諸国における財政問題、急激な円高による企業収益の悪化懸念など、景気は依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましても、東日本大震災の影響による先行き不安から、消費者のより一層の生活防衛意識が高まり、節約志向が続くなど大変厳しい環境下にありました。

こうした情勢のもとで、当社グループは、中期経営計画「第125期３ヵ年経営計画」の２年度として、特色ある事業の構築を確立するとともに、顧客のニーズに柔軟に対応したきめ細かな営業展開に努めてまいりました。

また、東日本大震災で被害を受けた地域での営業活動を早期に再開し、被災した当社グループの営業所や工場の復旧に取り組んでまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は455億75百万円（前年同期比34億65百万円の増加）、営業利益は３億77百万円（前年同期比75百万円の減少）、経常利益は３億87百万円（前年同期比77百万円の減少）、四半期純利益は２億72百万円（前年同期比１億15百万円の減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①食品事業

食品事業におきましては、すり身部門および加工食品部門では、東日本大震災の影響により主力の練り製品やサケ加工の工場が被災し、生産停止を余儀なくされ、他の地域での挽回策を講じましたものの、売上、営業利益ともに減少いたしました。一方、鮮凍水産物部門では、カニは海外からの供給量が減少するなか、相場が大幅に高騰したことにより、売上、営業利益ともに増加いたしました。助子は海外からの供給量が堅調に推移し、国内での販売量も増加いたしました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。北方凍魚は先の大震災で在庫が流失いたしましたものの、販売量が好調に推移いたしました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は271億81百万円（前年同期比８億47百万円の増加）セグメント利益は４億22百万円（前年同期比63百万円の増加）となりました。

②海洋事業

海洋事業におきましては、漁網・漁具資材部門および船舶・機械部門では、東日本大震災の影響により被災した石巻にある当社グループの網仕立て工場を早急に復旧し、資材供給体制の早期回復に努めました結果、売上は増加いたしましたものの、前年度好調でした海外における陸上用ネットの販売が減少したことなどにより、営業利益は減少いたしました。養殖部門では、西日本地区における海苔養殖向け大型乾燥機やシステム船の受注が増加いたしましたが、納入時期が下期にずれたことなどもあり、売上、営業利益ともに減少いたしました。

これらの結果、売上高は85億12百万円（前年同期比５億87百万円の増加）セグメント利益は２億99百万円（前年同期比96百万円の減少）となりました。

③機械事業

機械事業におきましては、国内において大手冷食、練り製品、惣菜調理業界に幅広く受注が進み、また、海外において韓国向け豆腐プラントや米国向け中華冷食設備などの大型案件受注を獲得いたしました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は36億円（前年同期比５億42百万円の増加）セグメント利益は２億14百万円（前年同期比85百万円の増加）となりました。

④資材事業

資材事業におきましては、合成樹脂部門では、国内での建材用加工品などの受注が堅調に推移し、さらに、海外での拡販も努めました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。一方、環境資材部門では、農畜資材において先の大震災や台風による天候不良が大きく影響し、売上、営業利益ともに減少いたしました。

これらの結果、売上高は50億18百万円（前年同期比４億32百万円の増加）セグメント利益は97百万円（前年同期比18百万円の増加）となりました。

⑤バイオティックス事業

バイオティックス事業におきましては、不妊治療に有効とされる素材「アグリマックス」や花粉症、アレルギーの緩和に有効とされる素材「イムバランス」の医師向けサプリメントは堅調に推移いたしましたが、全体的な健康食品市場の低迷が影響し、売上高は１億12百万円（前年同期比21百万円の減少）セグメント損失は10百万円（前年同期比４百万円の損失の増加）となりました。

⑥物流事業

物流事業におきましては、九州地区における食品を中心とした運送業を展開し、徹底的なコスト管理に努めてまいりましたものの、売上高は10億84百万円、セグメント損失は１億34百万円となりました。

⑦その他

その他の事業といたしましては、不動産の賃貸、生命保険および損害保険の代理業を行っており、売上高は67百万円（前年同期比８百万円の減少）セグメント利益は29百万円（前年同期比４百万円の減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は565億28百万円（前連結会計年度比18.6％増）となりました。

総資産の増加は、主として売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

（総負債）

当第２四半期連結会計期間末における総負債は443億５百万円（前連結会計年度比24.6％増）となりました。

総負債の増加は、主として仕入債務及び短期借入金の増加によるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は122億22百万円（前連結会計年度比0.9％増）となりました。

純資産の増加は、主として四半期純利益によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、29億12百万円と前連結会計年度末比４億93百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の30億70百万円の増加、たな卸資産の47億95百万円の増加などにより、56億44百万円のマイナス（前年同四半期は24億75百万円のマイナス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得による支出２億24百万円などにより、１億92百万円のマイナス（前年同四半期は２億16百万円のマイナス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金純増57億15百万円などにより、53億36百万円のプラス（前年同四半期は31億30百万円のプラス）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年５月13日に公表いたしました通期連結業績予想は据え置きといたしますが、通期個別業績予想を修正いたします。なお、当該個別業績予想の修正の詳細につきましては本日発表の「通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,548	5,044
受取手形及び売掛金	13,319	17,220
商品及び製品	11,085	16,012
仕掛品	495	493
原材料及び貯蔵品	1,916	1,759
繰延税金資産	88	50
その他	2,081	2,928
貸倒引当金	△131	△124
流動資産合計	34,404	43,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,508	6,511
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,770	△4,824
建物及び構築物（純額）	1,738	1,686
機械装置及び運搬具	4,153	4,399
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,165	△3,230
機械装置及び運搬具（純額）	987	1,169
工具、器具及び備品	563	608
減価償却累計額及び減損損失累計額	△473	△488
工具、器具及び備品（純額）	89	119
土地	2,247	2,237
建設仮勘定	233	304
有形固定資産合計	5,297	5,517
無形固定資産		
のれん	177	157
その他	126	123
無形固定資産合計	304	281
投資その他の資産		
投資有価証券	5,881	5,919
長期貸付金	187	115
破産更生債権等	2,400	2,009
長期預金	300	300
その他	751	781
貸倒引当金	△1,899	△1,842
投資その他の資産合計	7,622	7,283
固定資産合計	13,223	13,082
繰延資産		
社債発行費	12	59
繰延資産合計	12	59
資産合計	47,641	56,528

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,497	11,735
短期借入金	16,797	22,512
1年内償還予定の社債	3,625	125
1年内返済予定の長期借入金	755	764
未払法人税等	61	93
賞与引当金	358	366
事業構造改善引当金	143	143
災害損失引当金	120	126
その他	930	920
流動負債合計	31,289	36,787
固定負債		
社債	125	3,562
長期借入金	3,161	2,890
長期未払金	77	69
繰延税金負債	65	83
退職給付引当金	422	454
役員退職慰労引当金	92	97
負ののれん	116	94
その他	188	266
固定負債合計	4,249	7,518
負債合計	35,539	44,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,411	4,411
資本剰余金	22	22
利益剰余金	9,202	9,433
自己株式	△1,104	△1,104
株主資本合計	12,531	12,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378	394
繰延ヘッジ損益	0	△20
為替換算調整勘定	△838	△957
その他の包括利益累計額合計	△459	△583
新株予約権	30	44
少数株主持分	0	0
純資産合計	12,101	12,222
負債純資産合計	47,641	56,528

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	42,109	45,575
売上原価	38,079	41,600
売上総利益	4,029	3,974
販売費及び一般管理費	3,576	3,597
営業利益	453	377
営業外収益		
受取利息	51	31
受取配当金	92	76
持分法による投資利益	186	123
その他	102	105
営業外収益合計	432	337
営業外費用		
支払利息	270	281
貸倒引当金繰入額	24	△1
その他	124	46
営業外費用合計	419	326
経常利益	465	387
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	8	－
特別利益合計	8	－
特別損失		
固定資産売却損	5	0
固定資産除却損	－	1
投資有価証券評価損	－	2
子会社整理損	38	－
特別損失合計	43	4
税金等調整前四半期純利益	430	383
法人税、住民税及び事業税	67	73
法人税等調整額	△24	37
法人税等合計	42	110
少数株主損益調整前四半期純利益	387	272
少数株主利益	0	0
四半期純利益	387	272

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	387	272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△408	26
繰延ヘッジ損益	△63	△21
為替換算調整勘定	△113	△118
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△9
その他の包括利益合計	△595	△123
四半期包括利益	△208	148
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△208	148
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	430	383
減価償却費	194	234
のれん償却額	1	20
負ののれん償却額	△21	△21
繰延資産償却額	7	7
賞与引当金の増減額（△は減少）	12	9
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△45	36
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△17	△61
災害損失引当金の増減額（△は減少）	－	5
受取利息及び受取配当金	△143	△108
持分法適用会社からの配当金の受取額	10	15
支払利息	270	281
持分法による投資損益（△は益）	△186	△123
投資有価証券評価損益（△は益）	－	2
有形固定資産売却損益（△は益）	5	0
子会社整理損	38	－
有形固定資産除却損	－	1
売上債権の増減額（△は増加）	△2,094	△3,588
たな卸資産の増減額（△は増加）	△980	△4,795
前渡金の増減額（△は増加）	△353	△635
前受金の増減額（△は減少）	△81	93
仕入債務の増減額（△は減少）	745	3,070
割引手形の増減額（△は減少）	7	57
その他	△94	△386
小計	△2,294	△5,500
利息及び配当金の受取額	142	113
利息の支払額	△276	△215
法人税等の支払額	△46	△41
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,475	△5,644

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27	△28
定期預金の払戻による収入	94	27
有形及び無形固定資産の取得による支出	△317	△224
有形及び無形固定資産の売却による収入	7	2
投資有価証券の取得による支出	△97	△4
投資有価証券の売却による収入	0	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△20	－
短期貸付けによる支出	△1,282	△914
短期貸付金の回収による収入	1,268	885
長期貸付けによる支出	△28	△52
長期貸付金の回収による収入	269	122
その他	△80	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△216	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	3,754	5,715
長期借入れによる収入	239	212
長期借入金の返済による支出	△638	△472
社債の発行による収入	－	3,445
社債の償還による支出	△62	△3,562
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△169	△1
その他	7	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,130	5,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△27
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	422	△528
現金及び現金同等物の期首残高	3,358	3,405
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	35
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,781	2,912

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオティックス事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	26,333	7,924	3,057	4,585	133	42,034	75	42,109	－	42,109
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	224	－	－	－	224	－	224	△224	－
計	26,333	8,149	3,057	4,585	133	42,259	75	42,334	△224	42,109
セグメント利益又は損失（△）	358	395	129	79	△6	956	33	990	△537	453

（注）１ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

２ セグメント利益の調整額△537百万円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオティックス事業	物流事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	27,181	8,512	3,600	5,018	112	1,084	45,508	67	45,575	－	45,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	26	4	－	－	－	－	31	－	31	△31	－
計	27,208	8,516	3,600	5,018	112	1,084	45,539	67	45,606	△31	45,575
セグメント利益又は損失（△）	422	299	214	97	△10	△134	888	29	917	△540	377

（注）１ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

２ セグメント利益の調整額△540百万円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントの変更等に関する事項

前第３四半期連結会計期間より、西日本キャリテック株式会社の株式取得に伴い、従来の報告セグメントから、「物流事業」を追加し６つの報告セグメントに変更しております。

３ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。